

## 総合的な学習 指導略案

授業者:第6学年担任  
2学期 11月～12月

1. 教材名 人の世に熱あれ 人間に光あれ (友だち6)  
水平社宣言 (現代語訳)

2. ねらい

部落差別解消へ立ち向かった西光万吉の姿に共感するとともに、人間の自由と平等を求めた水平社宣言の意味や力強さに気づき、差別のない社会の実現を目指そうとする意欲を育てる。

3. 教材要旨

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」は、水平社宣言を創案した西光万吉の少年時代から全国水平社運動創立までの様子が描かれている。差別から逃れようと、京都・東京に出ていくものの、差別は、どこまでも追いかけてくる。しかし、仲間とともに、人間の自由と平等を求めて、水平社を創立していく力強い生き様を読み取ることができる。まず、万吉の生き方への感想を交流させる。次に、本文前半の不合理な部落差別に苦しむ様子を、後半の仲間と共に立ち上がる力強さに共感させたい。さらに、「水平社宣言文 (現代語訳)」に込められた万吉らの思いに気づき、どの文から特に感銘を受けたか考えることにより、感動を心に残させたい。そして、約80年前の問題であると同時に、現代の問題であることを解放学級の存在や、差別ビラ事件の事実などを伝えることによって、差別に立ち向かう意欲を強めさせたい。

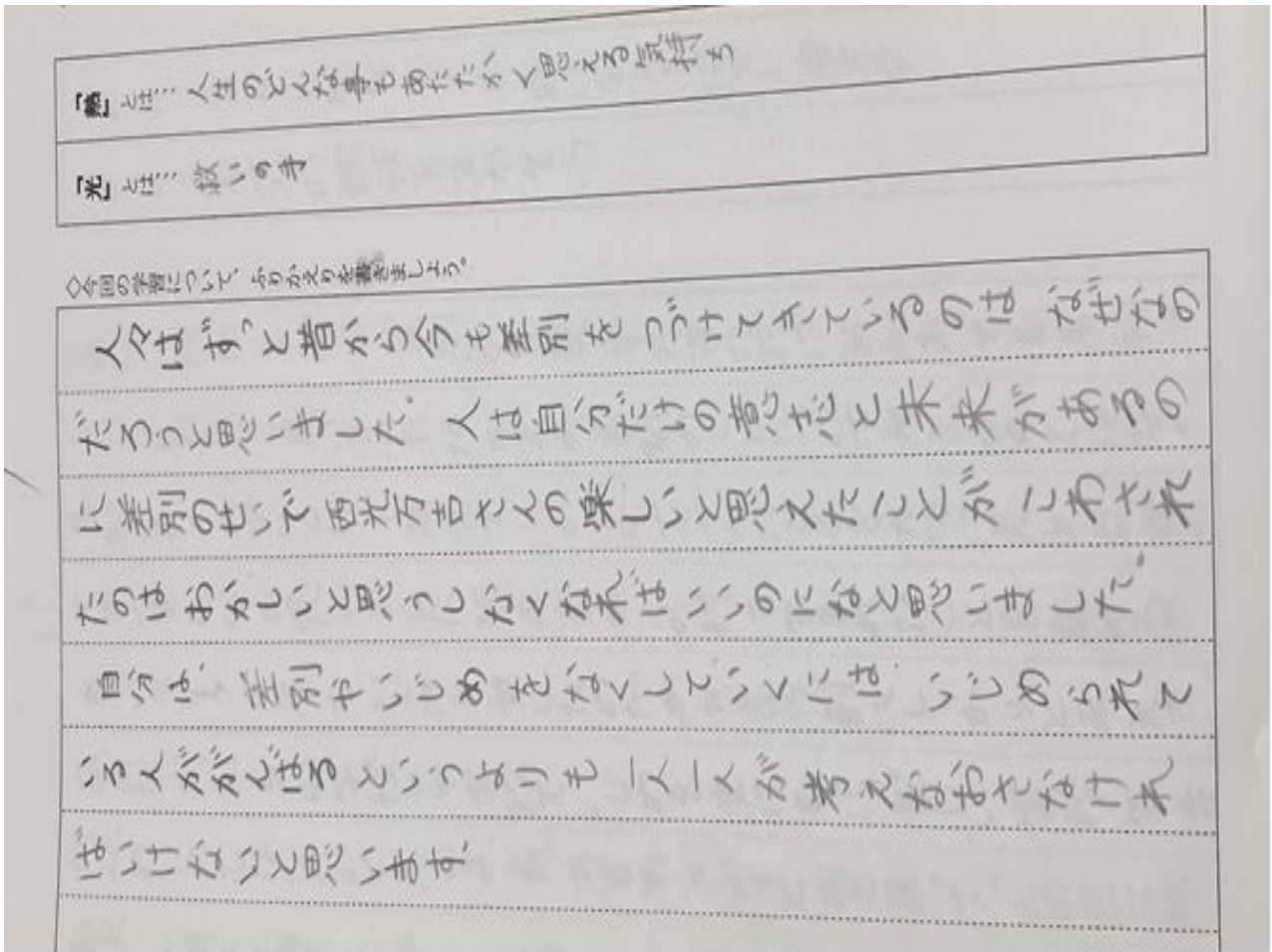
4. 人権教育の内容

2-(2)-ア 差別と人権問題についての学習

5. 指導の実際

	児童の活動	支援及び留意点
①	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     不合理な部落差別に苦しむ万吉の様子と仲間と共に差別に立ち向かう意欲を感じ取る。                 </div> 1 全文を読み、万吉の生き方に対する感想を交流する。 2 前半の不合理な差別に苦しむ万吉の心情を読み取り、部落差別への怒りを持つ。	・ ワークシートに記入させ、交流させる。  ・ ワークシートに部落差別の不合理さをまとめさせる。
②	1 後半部分の仲間と共に、水平社を創立し、差別に立ち向かう万吉の姿を感じ取る。 2 水平社宣言に込めた万吉らの思いを感じながら、宣言文を読み、感動した文を見つけ、理由を書く。	・ 水平社を創立した万吉の思いをワークシートにまとめる。  ・ 自分も万吉の仲間として、宣言文にどのようなことを伝えたいのか考え、ワークシートに書き込む。

③ 本時	<p>人間の自由と平等を求めた水平社宣言の意味や力強さに気づき、差別のない社会を目指そうとする意欲を育て高める。</p>
<p>1 宣言文（現代語訳）を読み、自分が感動した文を見つけ、その理由を交流する。</p> <p>2 現代に残る差別事象を取り上げ、これからの自分たちの役割について交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートに感動した文を写し、理由を書き込む。困難な児童には、前時で記入した自分が宣言文で伝えたいことをもとに、その意がこもった文章を見つけさせる。</li> <li>社会科「江戸時代の身分制度」の学習や「ネット上での書き込み差別」を知り、これから自分にできることを考えワークシートに記入し、交流する。</li> </ul>



「熱」とは、人ごうしがしかりと助け合え協力し合える

「光」とは、一人一人の個性を生かす

◇今回の学習について、ふりかえりを書きましょ。

一番心に残った言葉は「差別」の言葉です。万吉の村に何があっても差別はしたためだなど思いました。後万吉が差別のことについて考えるのではなく差別した人が中心になって考えしかりと一人一人のことを大切に思える世の中が一番だとも思いました。後万吉がこの村で生まれたことを広める人がいたから、二度もいじめを受けたのだから言う前にしかりと考え広めながら小学校や中学校でいじめを受けずに楽しい学校生活が送れたのではないかと思います。万吉もしかりと向き直って「人の世に熱あれ、人間に光あれ」を作ることはすごいなと思いました。一人一人が熱を持つことは大切だとも思いました。

「熱」とは、おこるといつ心

「光」とは、平和にサ暮らせる

◇今回の学習について、ふりかえりを書きましょ。

おこらないとくるしい生活がづづくとも思いました。光は豊かかな未来という感じで平和にサ暮らせるという考えを持ちました。差別はすぐくいつけないとも思いました。ちよとしたことで差別するのはよくないとも思いました。差別をしないようにしたいなとも思いました。熱と光はすぐく大切にしたいとも思いました。